

学力向上フロンティアスクール中間報告書（小学校用）

都道府県名	千葉県
-------	-----

I 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	木更津市立請西小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	4	4	3	3	2	26	34
児童数	157	167	127	132	109	112	3	807	

II 研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本を身につけ進んで問題解決しようとする児童の育成 — 算数科における習熟度別学習等を通して —
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年算数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解度・習熟度に差が出やすく、系統学習であるという特性から全校体制での研究が不可欠であるため。</li> <li>・学校として前年度よりの当該教科の研究実績を生かしさらに深めるため。</li> </ul> </li> <li>○5・6年教科担任制                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の特性を生かし、専門的な見地から児童の学力向上を図ろうとするため。</li> <li>・小学校から中学校への移行も視野に入れ、橋渡しの効果も期待して。</li> </ul> </li> </ul>
--

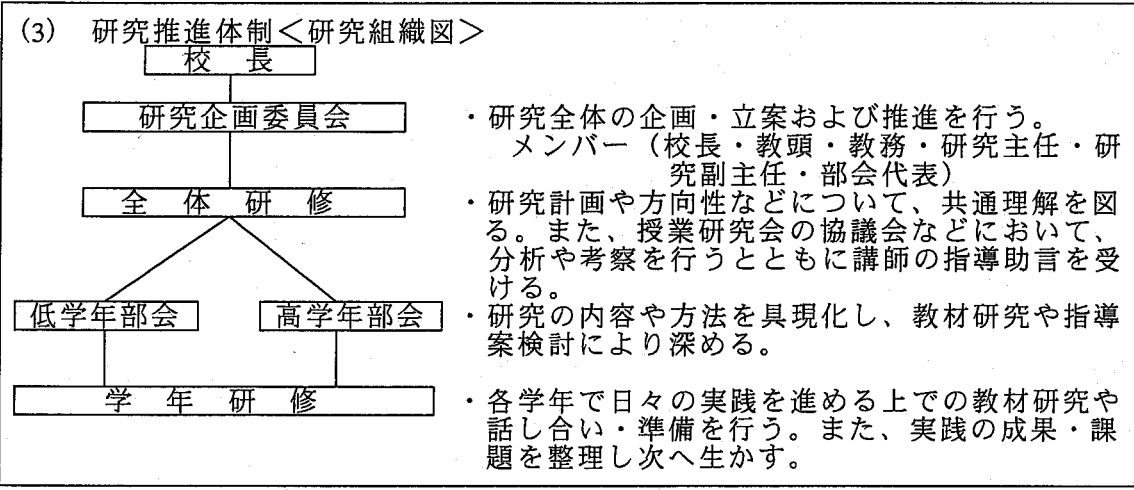
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ 基礎・基本を身につけ進んで問題解決しようとする児童の育成 — 算数科における習熟度別学習を通して —</li> <li>○仮 説                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の習熟度（能力）興味・関心・意欲などを把握し、学習形態や個に応じた手立てを工夫していけば、基礎・基本の定着が図れ進んで問題解決しようとする意欲が高まるだろう。</li> </ul> </li> <li>○研究内容・方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校および各学年で教材研究を十分に行い、年間を見通して習熟度別学習と学習形態の年間計画を立てる。</li> <li>・様々な学習形態のメリット・デメリットを考慮し、単元の特性や実態などに応じて、工夫しながら学習計画を立てる。</li> <li>・各学年1回の授業研究を行う。また、日常的な実践を計画的・継続的に行い、その成果と課題を次の学習へ生かす。</li> <li>・高学年での一部教科担任制を導入する。学年内で算数科以外の教科（社会・理科・国語・体育・総合）で担当、学習意欲を高める指導の工夫をする。</li> </ul> </li> </ul>
--------	---

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ 基礎・基本を身につけ進んで問題解決しようとする児童の育成 — 算数科における習熟度別学習等を通して —</li> <li>○仮 説                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の習熟度（能力）興味・関心・意欲などを把握し、学習形態や個に応じた手立てを工夫していけば、基礎・基本の定着が図れ進んで問題解決しようとする意欲が高まるだろう。</li> </ul> </li> <li>○研究内容・方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別学習の有効性を生かし、さらに少人数指導やTT指導を組み入れるなど指導形態の工夫をしながら日常的に実践、研究する。（一年次の課題から、習熟度別学習の方法を修正した。）</li> </ul> </li> </ul>
--------	---

- ・高学年の一部教科担任制の拡大を図り計画的に実践する。また、木更津第二中学校や太田中学校との交換授業や合同教材研究など、小・中の連携を推進する。

- 平成16年度
- テーマ (前年度までの研究成果と課題の分析により修正を加える。)
  - 仮説 ( " )
  - 研究内容・方法
    - <一年次・二年次の成果と課題をもとに研究を進める>
    - ・単元や教材の特性や児童の実態などに応じた柔軟な指導体制・形態を実践、研究する。
    - ・算数科での実践成果を他教科に拡げ生かしていく。
    - ・研究による成果と課題をまとめるとともに、研究内容や成果について他校に広めていく。



III 平成15年度の研究成果及び今後の課題  
1. 研究の成果

<習熟度別学習指導>

- ①習熟度別学習により、児童一人一人が意欲的に学習することができた。
- ②昨年度の反省(低位のグループでの比較検討が充実させられなかったこと)を生かすことや、少人数加配教員を生かすことで、いろいろな授業形態での取り組みができた。
- ③計算の習熟については、かなり定着が見られる。事後テストで伸びが表れている。特に基礎コースでの伸びが大きい。

<事前・事後テストの結果>

学年	H 1 4 年度			H 1 5 年度		
	単元	事前テスト	事後テスト	単元	事前テスト	事後テスト
1年				たしざん(2)	72.1	90.1
2年				かけ算	48.6	88.5
3年	チャレンジ計算ランド	90.6	97.6	かけ算の筆算	36.2	93.1
4年	わり算(2)	23.9	81.3	小数	33.4	87.5
5年	小数のかけ算	70.0	85.5	面積	36.5	56.6
6年	単分量あたり	37.6	82.2	単分量あたり	39.8	87.4

<コース別>

	事前テスト	事後テスト
3年 基礎	13.7	87.1
充実	31.6	94.5
発展	63.3	97.6

- ④計算の習熟だけでなく、思考面を伸ばすような学習ができてきた。ノートを取り方や、発表の仕方、また比較検討の充実が図られた。

<5・6年生一部教科担任制>

- ①学級の枠を越えて児童に関わることができ学年の児童理解につながった。また、他の学級のよさを伝え合うことができた。

- ②教師の得意分野を生かした指導ができ、児童の学習意欲を高めることができ、児童の学習意欲を高めることができた。

教科担任制について(調査対象：5年)	
・楽しい	85.6%
・内容がよくわかる	78.4%
・今後も学習したい	96.4%

## 2. 今後の課題

### <習熟度別学習指導>

- ①学年での検討の時間を確保すること。
  - ・打ち合わせや話し合い・教材研究の時間
  - ・日常的な反省や改善のための検討時間
- ②上位児をどう伸ばすか、発展的な学習についての研究がさらに必要である。
- ③さらに評価カードの形式や内容を追求し、改善していく必要がある。
- ④教科の本質や教材観について全校で、さらに研修を深める必要がある。

### <5・6年生一部教科担任制>

- ①教科担任制や学年オープンでの習熟度別学習は、従来の学級担任中心の指導と大きく異なるため、教師の意識改革が必要である。
  - ・個人+組織による指導体制(意識)の確立
  - ・担任の指導時間の減少による学級児童の掌握への懸念(不安)解消
- ②一部教科担任制での実施時数拡大へ向けた方策の検討
  - ・教科時数の関係・専科授業・特別教室配当等による日課表の変更

## IV 学力等把握のための学校としての取組

- 千葉県標準学力検査の実施(年1回：2月下旬)
- 実践内容の通過率を見るために、単元テストの事前・事後の比較を行う。

## V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 平成15年度実施の授業研究会
  - ・平成15年 6月18日(水) 「第1回校内授業研究会」(算数)
  - ・平成15年 6月27日(金) 「第2回校内授業研究会」(算数)
  - ・平成15年10月 9日(木) 「第3回校内授業研究会」(算数)
  - ・平成15年11月27日(木) 「第4回校内授業研究会」(算数)
- ※木更津第二中学校および市内近隣の小・中学校に知らせ、各校から授業参観、協議会への参加があった。
  - ・平成15年12月15日(月) 「木更津第二中学校出張授業」(英語)
  - ・平成16年 1月28日(水) 「太田中学校出張授業」(理科)
- 「君津地方学力向上フロンティアスクール合同会議」
  - ・平成15年10月 9日(木) 「第3回校内授業研究会参観及び研究協議」  
於：木更津市立請西小学校
- 本校 Web サイト・・・15年度の研究をまとめ、Web サイトを更新した。

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新設校・継続校】     15年度からの新規校     14年度からの継続校
- 【学校規模】             6学級以下             7～12学級  
                                13～18学級         19～24学級  
                                25学級以上
- 【指導体制】             少人数指導             T・Tによる指導  
                                一部教科担任制       その他
- 【研究教科】             国語             社会     算数     理科  
                                生活             音楽     図画工作    家庭  
                                体育             その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】     有     無